

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製造者情報	会社	イナバゴム株式会社
	住所	〒680-0911 鳥取県鳥取市千代水1丁目63番地
	担当部門	QEセンター QEグループ
	電話番号	0857-26-5592 FAX 0857-27-1966

作成・改訂: 2019年 7月 29日

製品名(化学名、商品名): NBRゴム ファイナルマスターバッチ

対象品名社内品番: 「 **N2090B-3** 」

2. 危険有害性の要約

GHS分類

・物理化学的危険性	分類対象外
・健康有害性	
急性毒性	
経口 :	分類できない
経皮 :	分類できない
吸入(気体) :	分類対象外
吸入(蒸気) :	分類できない
吸入(粉塵、ミスト) :	区分4
皮膚腐食性・刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷製・刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分1A
生殖細胞変異原性	区分1B
発ガン性	区分2
生殖毒性	分類できない
授乳に対する影響	分類できない
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分2
特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分1
吸引性呼吸器有害性	分類できない
・環境に関する有毒性	
水生環境有害性 急性有害性	区分2
水生環境有害性 慢性有害性	区分2
オゾン層への有害性	分類できない

・GHSラベル要素



- ・注意喚起語 危険
- ・危険有害情報 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (H317)
 吸入すると有害 (H332)
 遺伝性疾患のおそれ (H340)
 発がんのおそれの疑い (H351)
 肺、全身毒性の障害のおそれ (H371)
 長期にわたる又は反復ばく露による肺の障害 (H372)
 長期継続的影響により水生生物に毒性 (H411)

・注意書き

- 〔予防〕 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと (P202)
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること (P280)
- 〔対応〕 ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当を受けること
 (P308+P313)

3. 組成、成分情報

物質の特定 単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名 : アクリロニトリル・ブタジエン共重合体、カーボンブラック、その他配合薬品との混合物
 濃度または濃度範囲

化学名又は一般名	略号	濃度又は濃度範囲	官報公示整理番号		CAS No.
			化審法	安衛法	
アクリロニトリル・ブタジエン共重合体	NBR	30~40%	6-454	—	9003-18-3
カーボンブラック	—	45~55%	—	—	1333-86-4
酸化亜鉛	—	1~5%	1-561	—	1314-13-2
ロジン	—	1%未満	—	—	8050-09-7
チウラム	TMTD	1%未満	2-1820	2-(5)-87	137-26-8
ジスルフィラム	TETD	1%未満	2-1820	—	97-77-8

法規制対象成分

成分	安 衛 法	PRTR法
アクリロニトリル・ブタジエン共重合体	通知対象物質に該当しない	指定化学物質に該当しない
カーボンブラック	通知対象物質	指定化学物質に該当しない
酸化亜鉛	通知対象物質	指定化学物質に該当しない
ロジン	通知対象物質	指定化学物質に該当しない
チウラム	通知対象物質	第一種指定物質
ジスルフィラム	通知対象物質	第一種指定物質

4. 応急処置

- 吸入した場合 : 固体のため該当せず。
- 皮膚に付着した場合 : 必要に応じて触れた箇所を、石鹼を使ってよく洗浄する。
- 目に入った場合 : 清浄の水にて数分間、十分洗浄し、目に傷がついた時や刺激がある時等必要に応じて医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口を洗浄し、必要に応じて医師の診断を受ける。
-

5. 火災時の処置

- 消火剤 : 注水、炭酸ガス・泡沫・粉末の消火器、防火砂など。
- 特定の消化方法 : 注水、水噴霧、各種消火器等使用する。熱分解、不完全燃焼により、黒煙、一酸化炭素、窒素化合物、その他の有害ガスが発生する可能性があり、これらの吸入による危険が生じたりすることがある。
状況に応じて消火用防毒マスクや防火服等を着用する。(保護具等)
-

6. 漏出時の措置

- 除去方法 : 飛散した物を掃き集め、適当な容器に回収する。
-

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い :
- 技術的対策 : 混練・加工・成型作業中に揮発分が発生する可能性があるため、必要に応じて局所排気装置等を使用する。
- 注意事項 : 作業場の整理整頓に努めるとともに、火気をみだりに使用しない。
- 安全取扱注意事項 : 作業後、喫煙、飲食をする場合、手をよく洗いうがいをしてからにする。
- 保管 :
- 適切な保管条件 : 蓄熱・発火及び変質等を防止するために、以下の点を避ける。
①直射日光 ②高温・高湿 ③屋外保管
尚、屋内保管に当たっても、白熱灯や水銀灯など高温や強い紫外線を出す照明の近くには保管しない。
荷崩れ防止の為、段積みには充分注意の上、出来るだけ低くする。
3,000kg 以上の場合、消防法の指定可燃物に該当するので、保管等に当たっては各市町村条例に従う。
-

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 混練・加工・成型作業において、揮発分の発生がありますので局所排気装置を使用し、また近くに手洗い、洗眼などの設備を設けるようにする。
- 管理濃度 : 設定されていない
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 … 設定されていない。
ACGIH … 設定されていない。

OSHA …… 設定されていない。

保護具 : 必要に応じて、保護マスク、保護眼鏡、保護手袋、作業着、安全靴等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状 : シート状 (固体)

色 : 黒色

臭い : 微臭あり

比重 : 1.38

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

分解開始温度 : 約200°C

溶解度 : 水に不溶

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の取り扱い条件においては安定である。

危険有害反応可能性 : 強酸類、強塩基類、希硝酸との接触に注意する。

避けるべき条件 : 加熱、燃焼、静電放電

混触危険物質 : 強酸類、強塩基類、濃過酸化水素溶液、希硝酸、濃硫酸

危険有害な分解生成物 : 特になし

11. 有害性情報

急性毒性 (吸入: 粉塵、ミスト) :

NITEの資料より、区分4とした。チウラム、ロジン

皮膚感作性 : NITEの資料より、区分1Aに分類される成分が0.1%以上含まれるため、
区分1Aとした。チウラム

生殖細胞変異原性 :

NITEの資料より、区分1Bに分類される成分が0.1%以上含まれるため、
区分1Bとした。チウラム

発ガン性 : NITEの資料より、区分2に分類される成分が1%以上含まれるため、区分2と
した。カーボンブラック

特定標的臓器毒性 (単回暴露) :

NITEの資料より、区分1に分類される成分が1%以上含まれるため、区分2と
した。酸化亜鉛 (呼吸器・全身毒性)

特定標的臓器毒性 (反復暴露) :

NITEの資料より、区分1に分類される成分が10%以上含まれるため、区分1と
した。カーボンブラック (肺)

水生環境有害性 急性有害性 :

NITEの資料より、区分2とした。酸化亜鉛、チウラム、ジスルフィラム、ロジン

水生環境有害性 慢性有害性 :

NITEの資料より、区分2とした。酸化亜鉛、チウラム、ジスルフィラム、ロジン

その他 : 該製品には、カーボンブラックが使用されている。カーボンブラックは、IARCのグループ2Bに分類され、人に対して発がん性を示す可能性のある物質とされている。カーボンブラックは、吸入可能な粒子を吸い込むと、人体に対して健康被害を引き起こす。本品に含有されるカーボンブラックは、その処方(未硬化または硬化)から考えて、そのような吸入可能な形態にはならない。

12. 環境影響情報

残留性／分解性 : 症例なし
生体蓄積性 : 症例なし
魚毒性 : 症例なし
環境影響性 : 米国EPA『33/50プログラム』の有害物質及び『オゾン層破壊物質規制』の対象となる物質は使用していない。

13. 廃棄上の注意

内容物 : 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 同法施行令 第6条に従う。
破砕して15cm角以下にして埋め立てるか、あるいは焼却設備を用いて焼却した後、埋め立てる。
包装材 : 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 同法施工令 第3条に従う。
木・紙類は一般廃棄物として処理できますが各市町村の指導に従う。
また、プラスチック類は産業廃棄物として溶融または焼却の後、埋立処理を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類 : 分類基準に該当しない
国連番号 : 分類基準に該当しない
容器等級 : 分類基準に該当しない
海洋汚染物質 : 分類基準に該当しない

国内規制 適用法令を参照

異物混入、水濡れ及び直射日光を防ぐ為カバーシート等をかけて輸送する。
バラ積みをする場合は荷崩れを防ぐ為、出来るだけ低くするか、固定する等の実施。

15. 適用法令

1. 消防法第9条の4危険物の規制に関する政令第1条の12 別表第4『指定可燃物』合成樹脂類(3,000kg以上)に該当。
2. 廃棄物の処理及び清掃に関する法律
3. PRTR法
4. 労働安全衛生法 通知物質

16. その他の情報

- ・各原材料メーカーのSDS。
- ・経済産業省、環境省、NITE、ICSCなどのインターネットホームページでの確認。

ご注意

- * 本記載内容は現時点で当社が入手した資料、情報、データに基づいて作成しておりますので、新しい知見により改訂されることがあります。記載内容は情報提供であって保証するものではありません。
 - * 記載の注意事項は通常の実用を前提としたもので、特殊な取扱いに際してはその用途、用法に適した安全対策を実施した上で、ご使用ください。
 - * 本製品は、一般工業用途向けに開発、製造された物です。食品、医療、その他特殊な用途にご使用の場合は、貴社にてその用途での安全性を確認の上、ご使用下さいます様、御願い致します。
-